

高槻ええとこ

F M 発信

定住レポや魅力投稿

高槻市は9月から、「FM802」(大阪市)で市の魅力を関西一円にPRする番組の放送を始めた。リスナー(聴取者)の中心が20〜40歳代のFMラジオ局から発信することで、人口減に悩む高槻市への若者定住を促すのが狙い。3か月限定だが、市では「高槻のことを多くの人に知ってもらう機会にしたい」としている。(南省至)

高度成長期に人口が大幅に増えた高槻市には現在、少子高齢化の波が押し寄せ、今年6月の人口は約35万5000人で、5年前から約3000人減少した。また、総人口に占める20〜40歳代の割合は37・7%で、2000年度(42・2%)から約5%減った。

市は、人口減に歯止めをかけようと、子育て世代をターゲットに12年度から「定住促進プロジェクト」と銘打ち、イメーリアップ戦略に乗り出している。

番組はこの事業の一環で、タイトルは「どっちもたかつきCRACK A SMILE」。FM802の情報番組

「FLIPS」内で3日からスタート。DJの加藤真樹子さんが番組の進行役を務め、11月26日まで毎週木曜の午前11時15分から30分間放送する。

番組内では、リスナーから高槻の魅力を投稿してもらう

802で番組

「たかつき 1000人に聞きました!」や、新人DJが高槻に実際に住んで、その感想を報告する「高槻レポート」などを企画。1回目の放送では、リスナーからお気に入りのお店の名所や飲食店、季節のイベントなどについて、メールや

若者へ「耳傾けて」

ファクス約50件が寄せられたという。

市在住のプロフィギュアスケーター、織田信成さんを定住促進策のPR部長に任命し、今後、番組に月1回出演してもらう。10月末には番組の公開収録も予定。また、番組に寄せられたメッセージカードをつなぎ合わせて、巨大な1枚のイラスト(縦約2・8m、横約4・7m)を市役所前に完成させる構想もある。市営業広報室の担当者は「リスナーとの双方向のコミュニケーションが取りやすいラジオの特長を生かし、市民の皆さんと高槻の魅力を再発見できれば」と意気込んでいる。